



大阪・関西万博の会場の中心を取り囲む形で、シンボルとなる建築物が「大屋根リング」です。このプロジェクトの基本設計、実施設計、そして工事監理を担当するのは、世界的な建築家であり、会場デザインプロデューサーを務める藤本壮介氏です。「多様性を持ちながらひとつ」という会場デザインの理念を体現するシンボルとなっています。「最大の木造建築物」として、今年3月にはギネス世界記録に認定されました。

大屋根リングがギネス世界記録™に登録

大屋根リングは、「最大の木造建築物」として、2025年3月4日にギネス世界記録に認定されました。

正式英語記録名

The largest wooden architectural structure

記録名最大の木造建築物

記録対象建築物大屋根リング

(大阪市此花区夢洲)

認定日 2025年3月4日

認定面積 61,035.55m²



■設計者

藤本 壮介 ふじもと そうすけ 建築家

1971年北海道生まれ。

東京大学工学部建築学科卒業後、2000年藤本壮介建築設計事務所を設立。2014年フランス・モンペリエ国際設計競技最優秀賞（ラルブル・ブラン）に続き、2015、2017、2018年にもヨーロッパ各国の国際設計競技にて最優秀賞を受賞。主な作品に、ブダペストの House of Music (2021年)、マルホンまきあーとテラス 石巻市複合文化施設 (2021年)、白井屋ホテル (2020年)、L'Arbre Blanc (2019年)、ロンドンのサーペンタイン・ギャラリー・パビリオン 2013 (2013年)、House NA (2011年)、大屋根リング (2025年)